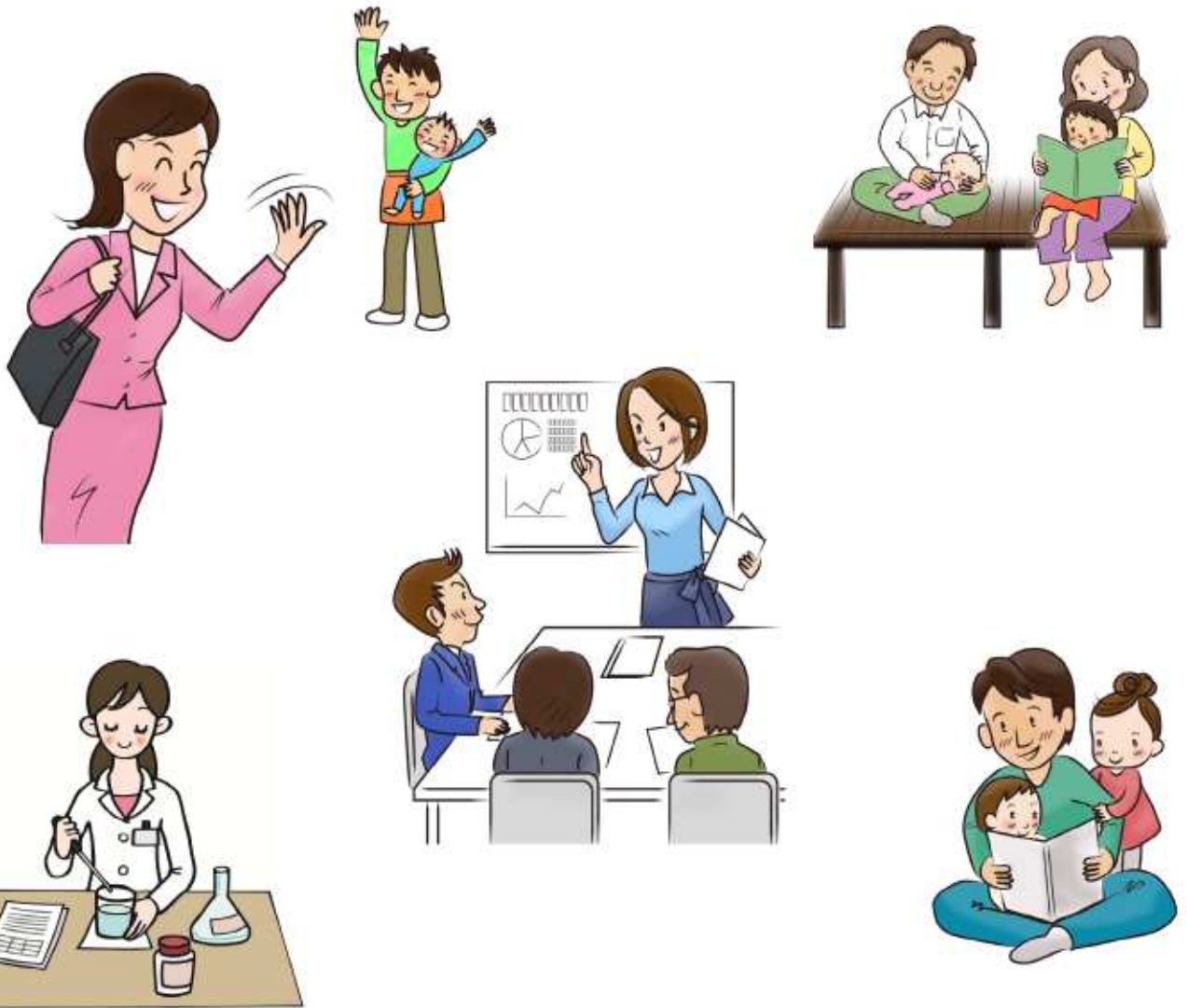


第12回

男女共同参画

川柳優秀作品集



発行：キラッ★とよた とよた男女共同参画センター



男女共同参画川柳優秀作品集発刊にあたって

男女共同参画社会は、誰もが女性、男性という性別にかかわらずなく、自分の持つ個性や能力を十分に発揮し、イキイキと活躍し、自分らしい生活を送ることが出来る社会のことです。そのためには、女性も男性も共に相手のことを尊重し、助け合っていくことが必要です。

「キラッ☆とよた（とよた男女共同参画センター）」では、この男女共同参画社会の実現を目指し、さまざまな事業に取り組んでいます。

この男女共同参画川柳は、身近な生活の中にあるジェンダーや男女共同参画について考えていただきたいという思いを込めて毎年実施しています。

平成15年度に募集を開始してから第12回となる今回は、1253名、1870点の作品をご応募いただきました。最近では、市外からの応募も増え男女共同参画を様々な視点から捉え、川柳に表した作品が寄せられています。

また、中学生の皆さんからの応募は1545点で、今年度も全校生徒で取り組んでいただいた学校もあり大変うれしく思います。

今回も数多くの作品が寄せられ、全ての作品を載せることができなかったため、優秀作品集とさせていただきます。

この男女共同参画川柳優秀作品集が、今後ますます多くの皆さまの目に触れることで、女性も男性も、イキイキと豊かに暮らすことのできる男女共同参画社会の実現に近づくことができればと思います。

※ジェンダー……性別学的な性差ではなく、『女らしさ、男らしさ』など文化的・社会的につく

られた性差を指します。

キラッ☆とよた（とよた男女共同参画センター）

目次

● 優秀賞	1
● 入選	3
● 審査員講評	8
● 佳作	
● 一般の作品	10
● 中学生の作品	14



※ この作品集に記載されている内容について、無断転写・転用は、遠慮ください。

優 秀

豊田市長賞

もうひとこえ 育休すすめる 会社の声

末野原中学校

山田 華鈴

(講評) 厚生労働省の調査結果では、平成25年度の育児休業取得率は女性が83%に対し男性は2.03%です。年々増えてきていますが、まだ低い状況です。この作品のように会社側から取得しやすいひと声をかけてほしいですね。

豊田市議会議長賞

日本初 リケジヨが開発 育児ロボ

粕谷 里美

(講評) 未来では育児ロボが完成し、子育て中の人も安心して働けるように「リケジヨ」のみなさんががんばってと期待してしまいう作品ですね。

豊田市教育委員会賞

ママ産休 とったら次は パパ育休

末野原中学校

川内 誠仁

(講評) 将来、この作品のように、妻が出産に際して産休を取ったら、次は夫が当たり前のように育休を取り、夫婦そろって育児をするような社会になってほしいものですね。

優 秀

キラツ☆とよた賞

夢・キャリア 夫婦そろって 掴む社会

ペンネーム

OWD48+2

(講評) 夫婦で協力することによって、性別にかかわらず誰でも自由なライフコースの選択ができる社会を目指そうという思いを表現した作品ですね。



キラツ☆とよた賞

おふくろと おやじの味が あるわが家 石原 ゆみ子

(講評) おふくろの味という言葉は、昔からよく言われますが、家事(料理)をするお父さんが増えれば、おふくろ、おやじそれぞれの味のある家庭も増えてきますね。その味にはそれぞれの思い出もついてくる心温まる作品ですね。

キラツ☆とよた賞

オレは今 家庭部男子 委員長 岡本 彩愛

末野原中学校

(講評) 昔は、男子は技術科、女子は家庭科に別れて授業をしていた頃がありました。今では、男子も女子も両方を同じように学んでいますね。そんな中、自分が家庭部の委員長だと胸を張って言えることは頼もしいですね。

入 選

ベストカップル賞

育メンは 手遅れでしたが 今祖父(じじ)メン 豊田 幸代

パパとママ 家事をシフトで 時を分け 豊田 守男



入 選

家事育児 パパの協力 ママ昇進

管理職 評価基準に イク(育)ボス度

婚活で 僕はアピール 家事得意

主夫をする 宣言入れた プロポーズ

パパ友と 育児自慢の 日曜日



井上 信子

大和田 薫

梶 政幸

金子 秀重

小林 功

入 選

アシストも ゴールも家事で できる仲

田崎 信

さあ取ろう 君は産休 ぼく育休

柳本 昭子

PTA 男女差別？ ママだらけ

上郷中学校
杉浦 あい

女子力の 高い男子も ステキです

上郷中学校
本多 琴音

パパのごはん ぐちやぐちやだけど 全部好き

上郷中学校
安富 友香



入 選

CMの「主夫」で反応 父動く



末野原中学校

跡見 美祐

たくましい 私にとって ほめことば

末野原中学校

板倉 亜依

おたがいに ほめてはかどる 家事育児

末野原中学校

大久保 日葉里

見て学ぶ 子供も将来 家事分担

末野原中学校

杉山 莉奈

イクメンと 働くママに 感謝状

末野原中学校

田中 瑛人

入 選

へだてなく 育児育休 介護まで

末野原中学校

三浦 亜樹人

母が言う “男のくせに…” もう古い

前林中学校

伊藤 千紘

やらせずに すすんでやろう 家事育児

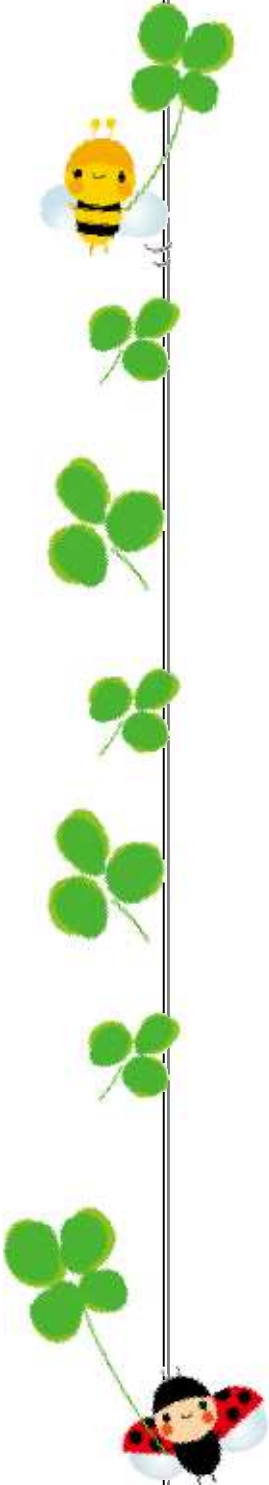
前林中学校

植山 渉

人間は 夢を持ったら 差別なし

前林中学校

大枝 拓真



審査員講評

城西国際大学 教授 石田 路子

とよた男女共同参画センター主催の男女共同参画川柳も第12回を迎え、すっかり定着してきたように思います。今回の市長賞には末野原中学校・山田華鈴さん作「もうひとこえ 育休すすめる 会社の声」が選ばれました。女子中学生が「もうひとこえ」と感じている現在の育休制度、女性たちが活躍する社会を目指している我が国では、行政も企業も、そして大人たちが、これからいっそう取組みに前向きにならないといけないことを感じさせる辛口の川柳と思います。議長賞の粕谷里美さん作「日本初 リケジョが開発 育児ロボ」は審査で意見が割れました。リケジョ(理系女子)が研究開発する育児ロボというのは確かに未来への希望があるが、育児をロボットに任せるのはどうなのだろう…という疑問です。しかし、ロボットにできるところは任せて負担を軽減し、人間にしかできない部分にゆとりを持って力を注ぐという使い分けを前提に、これからのそう遠くない未来を想像させてくれる作品として評価したいと考えました。

さらに、教育委員会賞の川内誠仁さん作「ママ産休 とつたら次は パパ育休」、キラッとよた賞の岡本彩愛さん作「オレは今 家庭部男子 委員長」は、市長賞を受賞した山田さんと同じく末野原中学校の生徒とお聞きしました。また、入選・佳作の中にも上郷中学校、朝日丘中学校、前林中学校から参加してくれた作品が多数あり、男女共同参画川柳を通して男女共同参画を学んでくれた若い世代に期待するとともに、未来を任せられる頼もしさを感じています。

毎回、育児や家事などの共同参画をテーマにした川柳が多い中で、最近に注目された事柄や言葉を巧みに川柳に盛り込んだ作品には、やはり目が留まります。「育メン」は男女共同参画川柳においてなじみのあるキーワードですが、入選作品の大和田薫さん作「管理職 評価基準に イク(育)ポス度」にある「育ポス」は、育児に理解のある管理職がこれから増えていくことへの期待を詠んだものと思います。中学生の本多琴音さん作「女子力の 高い男子も ステキです」にある女子力とはどんなことを指すのでしょうか。その人なりの解釈があっていると思いますが、外見的な美しさにとらわれることなく、人間的な感性や情緒の豊かさに育まれた美しさを追求していく力…、という理解をしたいと思います。

最後に、今回も『男女共同参画川柳』へは豊田市のみならず愛知県内をはじめ全国から多数の応募がありました。この取組みは是非これからも継続し、とよた男女共同参画センターの特色の一つにできればと思っています。

審査員講評

名古屋学芸大学 准教授 吉野 まり子

この度は、男女共同参画川柳に約2000点に及ぶ応募があり、毎年その応募数が増えていくことは、「男女共同参画」の実現というのが、時間をかけて取り組む必要のあるテーマとして、忍耐力のある思考、または粘り強い関心に基づいたものであると実感いたします。ご参加いただきました方々に、心からお礼を申し上げます。

様々な場面で、何かの「変化」を実感することが増えたと感じられている方が多いのではないのでしょうか。その変化でも、制度やルールを変えていくことに比べ、意識の変革が一番時間がかかるものです。それも、自己利益につながるものでさえ、強力な自主的努力や目標達成への精進が求められるものもあります。まして、理解や理性に基づく公益性の高いもの場合は、別の思考回路を活性化させた努力や継続力が必要となる場合が多いと感じています。

12回目を迎えた今回の川柳の講評の中で、その継続力による変化を感じることができました。総評としまして、「何々はだめだ」などという、男女ともに都合の悪かったスタイルを否定したり、逆に男性が女性化することを是とするものや女性が男性化することを賞賛するようなものが減り、それに代わり、新しい男女共同のスタイルを当たり前と捉え、川柳という文字表現の作品にそのコンセプトを基礎としたものが増えたことが12年継続したこの川柳イベントの成果であったと評価しています。

今年は、市長賞に中学生の方の作品が選ばれました。内容も働く現場での情景が思い浮かぶような、「もうひとこえ 育児すすめる 会社の声」と、そうなんです、そうあってほしいんですよという、働く多くの大人たちの気持ちの代弁をしてくれているスカッとするほどの射た優秀作品だと満場一致で決まりました。また、議長賞となりました「日本初 リケジョが開発 育児ロボ」も男女共同参画には不可欠で、やはり言葉となった「リケジョ」を使い、さらに育児ロボットを開発という未来像を見据えたものや、教育委員会賞受賞の作品で「ママ産休 とつたら次は、パ育休」と理想的な夫婦の役割分担のスタイルを字数の限られた川柳にまとめきる、表現のセンスの良さに感銘を受けました。キラ☆とよた賞受賞の、堂々と家庭部男子委員長と胸をはる男子学生のすてきな顔が想像できる作品や、おふくろの味に勝るとも劣らない親父の味の両方があるわが家と表現できてしまう感性、また、「夢キャリア 夫婦そろって 掴む社会」と、多くの人が目標としたい意識とそれによって実現できる姿を川柳の中でまるで映像化されるかのように表現できることは、単なる川柳のセンスの良さだけでなく、川柳という言葉のメディアを超えた思考の創造力を見せていただけだと思います。特にすばらしかった作品のひとつに、ベストカップル賞があります。「パパとママ 家事をシフトで 時を分け」と「育メンは 手遅れでしたが 今祖父(じじ)メン」は、おもしろ膝をたたいてそうだと叫んでしまうほどにすばらしく、全年代の男女をうならせる作品ではないかと思えます。

その他にも、入選作品、佳作など見事な程に良作ぞろいの12回目の川柳でした。このような取り組みは、前述した通り、忍耐強く継続させていく必要があります。目標までは、現実的にまだ道のりは遠いのかもかもしれません。しかし、このような川柳の作品を詠みながら、笑ったり批評したりと話題となっていくことで、「男女共同参画」の意識変革が行われていくのだと感じています。

佳作

(氏名五十音順)



関白は許さぬ妻に 鍛えられ

石橋 直樹

一般の作品

ほめ上手 乗せられ上手で ダブルしゅふ(主婦と主夫)

石原 ゆみ子

「男なら」「女のくせに」の 梓を脱ぐ

赤羽 慶正

育児でも スマホと同じ 家族割り

伊藤 昌孝

吐露出来ぬ 男の辛さ 寄り添って

荒賀 稔子

二重丸 ババは参画 ママ資格

伊藤 昌孝

カレー臭 ババのカレーは いい匂い

安藤 博樹

サンカクで 家庭も町も マルくなる

伊藤 ゆかり

イクメンの 根付く社会に 夢芽吹く

石畝 秀高

ワークシエアー 肩ひじ張らず 自然体

井上 信子

バア、メタボジイ、黙々と オール家事

伊與田 廣隆

プロポーズ イクメンめざし 君愛す

檀本 健一

主婦につき 主夫と置換え 日によつて

印出 哲久

しわくちやの 洗濯のシャツ ありがとう

金子 秀重

育休を 取らずに社内 で 肩身狭ッ!

ペンネーム
OWD48+2

二人して 夢を追いか け 家事分担

亀井 千代蔵

お先にと 妻は三十路で 管理職

緒方 一雄

じじエフロン 胸張り職業 主夫と書き

川村 繁

誕生日 手作りクッキー カレシから

角森 みゆき

調味料 主人にありかを 聞く私

北川 美紀

今イクメン 昔イクメン 我が夫

檀本 健一

私産み 夫育てる 二人の子

桑原 智恵子

怒らずに 誉めて、甘えて 家事分担

白木 松子

うちのパパ 仕事と育児の 二刀流

永井 尚徳

家事はママ ダメよダメダメ パパ参加

新谷 真世

妻課長 出世先越され オレ家長

中野 きよ子

多様性 認め生み出す 独自性

角谷 和司

ごみ出して 挨拶交わす パパとパパ

長森 幸子

共稼ぎ 共育共家事 あたり前

互野 祐加

家事介護 子育て3K 割る(÷)夫婦

長森 幸子

わが家では 夫婦で育児 もうフツー

竹本 百合恵

参画で 男女の角を 丸くする

西村 英樹

もうやめて 「女でしよう」の その言葉

丹内 哲郎

イクメンに なって良かった 子の笑顔

箱崎 美月

育メンに 負けじと育ジイ 立ち上がる!

林 紘史

イクメンの 免許皆伝 妻認定

水島 耕成

息抜きは バトン渡せる 家事育兒

原茂 敬浩

子育てを 楽しく語ろう 夢のせて

森川 慶

ねぎらいは 夫のやる気 伸ばす技

平山 千代子

スーパーで メモ紙見つめて 悩むパパ

森下 義明

育じいが 助太刀いたす パパとママ

逸見 修

手伝うは だめよ! だめだめ 当然よ

柳本 昭子

似顔絵の パパの右手に フライパン

松永 智文

してあげる 上から視線は もうやめた

山野 大輔

「おかえり」と 夫の笑顔に 迎えられ

松本 和美

中学生の作品

(学校別・氏名五十音順)

〈朝日丘中学校〉

性別に こだわる自分 おくれてる

船本 萌子



男女共同 口で言うより 行動に

柴田 陸斗

立候補 男子も女子も 前に立ち

清水 京輔

関係ない 家庭の仕事に 性別は

野村 愛弥

〈上郷中学校〉

父の飯 ひとてまはいり 味深し

阿部 孝胤

性別を 理由にしない 世の中へ

本多 琴音

男女とも 挑戦できる 何だって

吉見 萌花

家事できる パパってなんだか かつこいい

大蔵 将人

〈末野原中学校〉

すすんでる イクメン増える この時代

倉橋 里実

女子男子 1人1人が オンリー1

飯田 和香奈

仕事名 マンやウーマン つけちゃダメ

五十嵐 元

妻かせぎ 夫は家事して 家で待つ

伊藤 大翔

弟で 子育て練習 日ごろから

石川 大樹

とらわれず 進んで行こう 僕の道

入佐 一輝

個性とは 一人一つの 宝物

石川 大起

男子でも 家事が得意と 面接で

梅谷 真維

女でしょ そんな言葉は 禁止令

石寺 未奈

おたがいの 気持ちしりあい 助けあい

大石 悠宇

父作る 色あざやかな 弁当だ

板倉 晴斗

夕飯を 尋ねるメール 父からだ

岡田 歩子

今夜のね 家事は任せた お父さん

板倉 安海

「男女」より 自分らしさが 大事だよ

勝田 真由

父の趣味 サイクリングと 家事全般

井手 悠人

男こそ 家事もこなすと かつこい

上坂 悠真

決めつけず 自分らしさを 大切に

上坂 悠真

母産休 次は育休 父がとる

鈴木 暉大

料理して モテる男が 増えてきた

金堂 日麻里

男女とも 個性輝く 世の中に

鈴木 彩華

協力で 乗り越えられる どの壁も

朽木 泰智

子育ては 1人じゃないよ 声かけて

瀬下 将生

ごはんだよ お玉片手に 父が呼ぶ

小島 楓梨

できる芽を 性別だけで 摘まないで

高木 亮輔

将来の 夢に性別 ナッシング

後藤 綾乃

保育園 夫婦でおくる 子供たち

高山 七海

キヤラ弁を こりだす父が 楽しそう

志比田 茉菜

将来の 夢に性別 無関係

武田 真人

保育士に 男子が増えて 子に人気

清水 希実歩

性別で 自分の未来 決めないで

谷口 りお

社会人 男女の仕事 格差なし

戸田 英志

ご飯まだ 言ってる人が 作りましょう

深津 絵里香

父母かわす 夕食中の ありがとう

中原 未結

性別で 仕事が決まる それはイヤ

古澤 美彩樹

裁縫の 才能目覚め 父自慢

中村 望羽

女子出馬 男子サポート 総選挙

舛井 萌恵

女子力は 力仕事も 負けてない

二宮 誉岳

共働き 大黒柱は 二本立ち

松井 祐貴

管理職 どこを見ても 男だけ

長谷川 みい奈

男でも 育児も家事も どんとこい

三浦 亜樹人

情けない 炊事洗濯 できぬ父

花木 玲男

子の笑顔 イクメンババの 活かに

水野 光貴

子がうまれ 育児とろう お父さん

兵藤 瑞菜

合唱コン 男子ピアノで 女子指揮者

弓削 海瑠

てきばきと 家事こなすのは 僕の父

和田 拓海

性別で 悩む子いない 世の中に

寺田 有希望

〈前林中学校〉

誰が上？ 男女いつしよき 空の下

石川 愛菜

この時代 女性総理も いいじゃない

中野 駿

夢に向かう その目標に 男女なし

岩瀬 結愛

お互いの 個性大事に 協力を

新貫 和佳奈

「のくせに」 自分らしさを 消す言葉

近藤 佑紀

ランドセル 指定はないよ 色自由

藤田 幹太郎

家のこと みんなでやれば 笑顔咲く

鈴木 萌芽

給料の 男女差別を なくそうよ

森安 英里香

子守唄 ぼくらもうたう イクメンに

田近 杏佳





第12回 男女共同参画川柳優秀作品集 平成27年2月発行

発行 キラッ☆とよた
(とよた男女共同参画センター)
〒471-0034
豊田市小坂本町1-25
(豊田産業文化センター2階)
電話 0565(31)7780
FAX 0565(31)3270
URL <http://www.hm4.aitai.ne.jp/~clover/>
E-mail clover@city.toyota.aichi.jp